

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

旭化成株式会社（証券コード:3407）

【据置】

長期発行体格付	A A
格付の見通し	安定的
債券格付	A A
発行登録債予備格付	A A

■格付事由

- ヘルスケア、住宅、マテリアルといった幅広い領域で事業を展開する総合化学大手。各セグメントで競争力のある有力製品を多数手掛け、差別化を重視したアプローチなどによって強固な事業ポートフォリオを構築している。新中期経営計画（26/3 期～28/3 期）では、成長投資による成果獲得や構造転換などを通じ、一段の企業価値向上を企図。ヘルスケア、住宅で大きな利益成長を見込む一方、マテリアルはエレクトロニクスの拡大展開やケミカルの収益改善・事業モデル転換などを通じ、収益体質の安定化を図る計画である。
- 業績は成長軌道に回帰している。ヘルスケアは医薬品の M&A 効果やクリティカルケアのプレゼンス向上などにより、着実に収益力が強化されてきている。また、住宅は商品力や海外事業の強化などを背景に、安定収益源としての厚みが増してきている。マテリアルはケミカル事業を中心に厳しい事業環境が続いているものの、構造改革が進捗してきているほか、エレクトロニクスやカーインテリアでは競争優位な製品の需要増加が利益成長のドライバーとなっている。成長投資負担で有利子負債は増加しているが、財務規律を重視した投資判断が行われている。当面、強固な事業基盤が揺らぐ懸念は小さい。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを「安定的」とした。
- 25/3 期の営業利益は 2,119 億円（前期比 50.6%増）と大幅増益となり、6 期ぶりに過去最高益を更新した。26/3 期会社計画では営業利益 2,150 億円（同 1.5%増）と小幅ながら増益を予想する。米国の関税措置によるマイナス影響を一定程度織り込むが、ヘルスケア、住宅はいずれも全体として堅調な推移を予想。マテリアルはまだら模様となるが、底堅く利益を確保できる見込み。なお、構造改革に伴う損失計上を予定することから、親会社に帰属する当期純利益は 1,250 億円（同 7.4%減）と小幅減益の予想となっている。
- 25/3 期末のネット DER は 0.41 倍（前期末 0.32 倍）と財務構成は健全である。積極的な成長投資の影響で 25/3 期末の有利子負債は 1.1 兆円台となり、直近でボトムとなった 18/3 期末 3,012 億円に対し大きく増加している。一方、着実な利益蓄積で 25/3 期末の自己資本は 1.8 兆円台となっており、業績変動や投資負担に対し相応のリスク耐久力がある。新中計でも前中計並みの投資意思決定を計画するため、有利子負債は削減しにくい状況が続くと想定される。ただ、底堅いキャッシュフロー創出力があることやこれまでの財務運営実績などから見て、財務リスクが高まる懸念は小さい。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

■格付対象

発行体：旭化成株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 12 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2019 年 9 月 6 日	2029 年 9 月 6 日	0.210%	AA
第 15 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2020 年 6 月 19 日	2030 年 6 月 19 日	0.280%	AA
第 17 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2021 年 12 月 9 日	2026 年 12 月 9 日	0.090%	AA
第 18 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2021 年 12 月 9 日	2031 年 12 月 9 日	0.240%	AA
第 19 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2022 年 12 月 7 日	2025 年 12 月 5 日	0.230%	AA
第 20 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2022 年 12 月 7 日	2027 年 12 月 7 日	0.410%	AA
第 21 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2022 年 12 月 7 日	2032 年 12 月 7 日	0.669%	AA
第 22 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2023 年 12 月 5 日	2026 年 12 月 4 日	0.400%	AA
第 23 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	200 億円	2023 年 12 月 5 日	2028 年 12 月 5 日	0.548%	AA
第 24 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2023 年 12 月 5 日	2030 年 12 月 5 日	0.869%	AA
第 25 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2023 年 12 月 5 日	2033 年 12 月 5 日	1.232%	AA
第 26 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2024 年 12 月 3 日	2027 年 12 月 3 日	0.841%	AA
第 27 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2024 年 12 月 3 日	2029 年 12 月 3 日	0.949%	AA
第 28 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2024 年 12 月 3 日	2031 年 12 月 3 日	1.066%	AA
第 29 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2024 年 12 月 3 日	2034 年 12 月 1 日	1.402%	AA
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	2,000 億円	2024 年 5 月 19 日から 2 年間		AA	

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 10 月 20 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「化学」(2022 年 6 月 15 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 旭化成株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル